



<NATURALLY INSPIRING>
~KEEPING IT LOCAL~

2020年2月20日

「THE 尾州」

「第17回ジャパンヤーンフェア」



WHY WOOL?

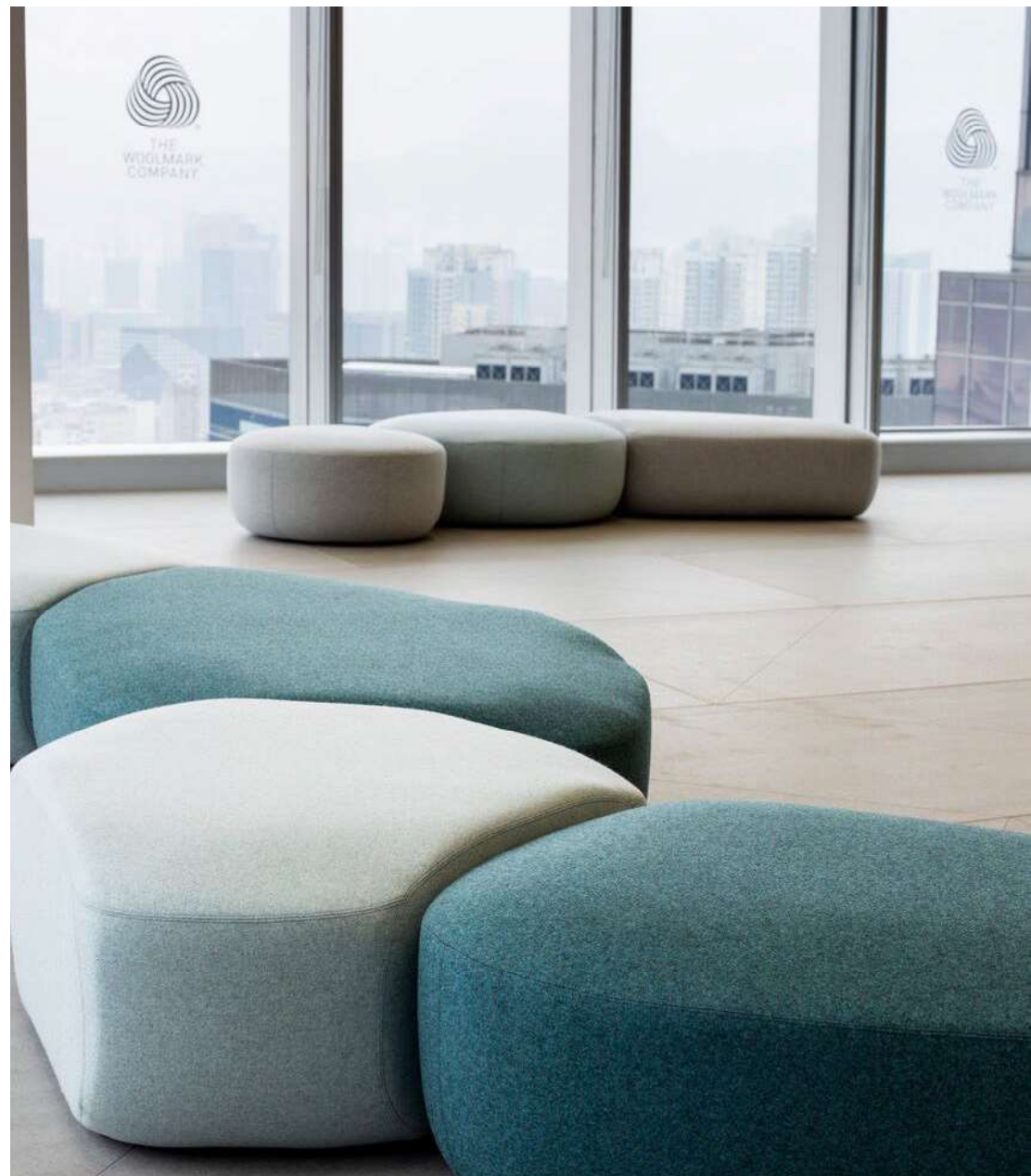
ウールは様々な性能を備えた無限の可能性を持つ繊維です。

100%天然、再生可能、生分解性であるウールは、今日の意識の高い消費者に選ばれています。



THE WOOLMARK COMPANY

- ザ・ウールマーク・カンパニーは、ウールのグローバルオーソリティーです。非営利法人オーストラリアウールイノベーション（AWI）の子会社として、ウールの研究、開発、マーケティングを世界のウールサプライチェーン全体で行うことで、牧場からファッションまでを幅広くサポートしています。
- ザ・ウールマーク・カンパニーは、新しい才能を育てるという継続的な事業内容の一環として、学生セミナーを開催し、ファッション、テキスタイル、デザイン業界に参入する次世代の人材を教育するとともに、今後の業界キャリアの中で、メリノウールの使用を積極的に促進しています。



Naturally Inspiringセミナー

Naturally Inspiringセミナーは、業界のリーダーや専門家、その道のプロが集まり、メリノウールとその多くの可能性、特性についての講演をします。テキスタイル、アパレル、ファッション、そしてサステナビリティに情熱を注ぐ学生を対象とした無償のセミナーです。

このセミナーを日本で初めて開催するにあたり、ウールの世界的産地、尾州産地で行われる「17th JAPAN YARN FAIR & THE尾州展」のイベントの一つとして学生の皆様に参加して頂きます。

当日は、弊社よりウールについての基本的なセミナーに加え、ウール産業に関わる地元有力企業の代表者様によるセミナーを開催。また、可能な限り質問の時間を取り、学生の皆様がウールと産地の関りについて興味を持って頂ければ幸いです。



セミナースケジュール

10:00

挨拶

10:05~10:35 (30分)

ウールの基本的な知識 (西沢)

10:40~11:10 (30分)

ゲストセミナー①

11:15~11:45 (30分)

ゲストセミナー②

11:50~12:20 (30分)

質疑応答

12:25

終了



セミナー内容

<ゲストスピーカーより>

- 事業内容：テキスタイルビジネスの役割
- 新しいウール素材の開発
- トрендへの対応
- 企業として 環境への負荷・配慮

<ザ・ウールマーク・カンパニーより>

- ザ・ウールマーク・カンパニーとは
- ウールの基本的特性や性能
- 牧場からファッションまで
- ウール 環境への負荷、配慮



スピーカー

中島 君浩氏 (ゲストスピーカー①)

株式会社中伝毛織株式会社

代表取締役 副社長

葛谷 聰氏 (ゲストスピーカー②)

葛利毛織工業株式会社

専務取締役

西沢 智裕 (モデレーター)

ザ・ウールマーク・カンパニー

商品開発・教育担当マネージャー

ゲストスピーカー①

中伝毛織株式会社

中島 君浩 代表取締役副社長 (左)

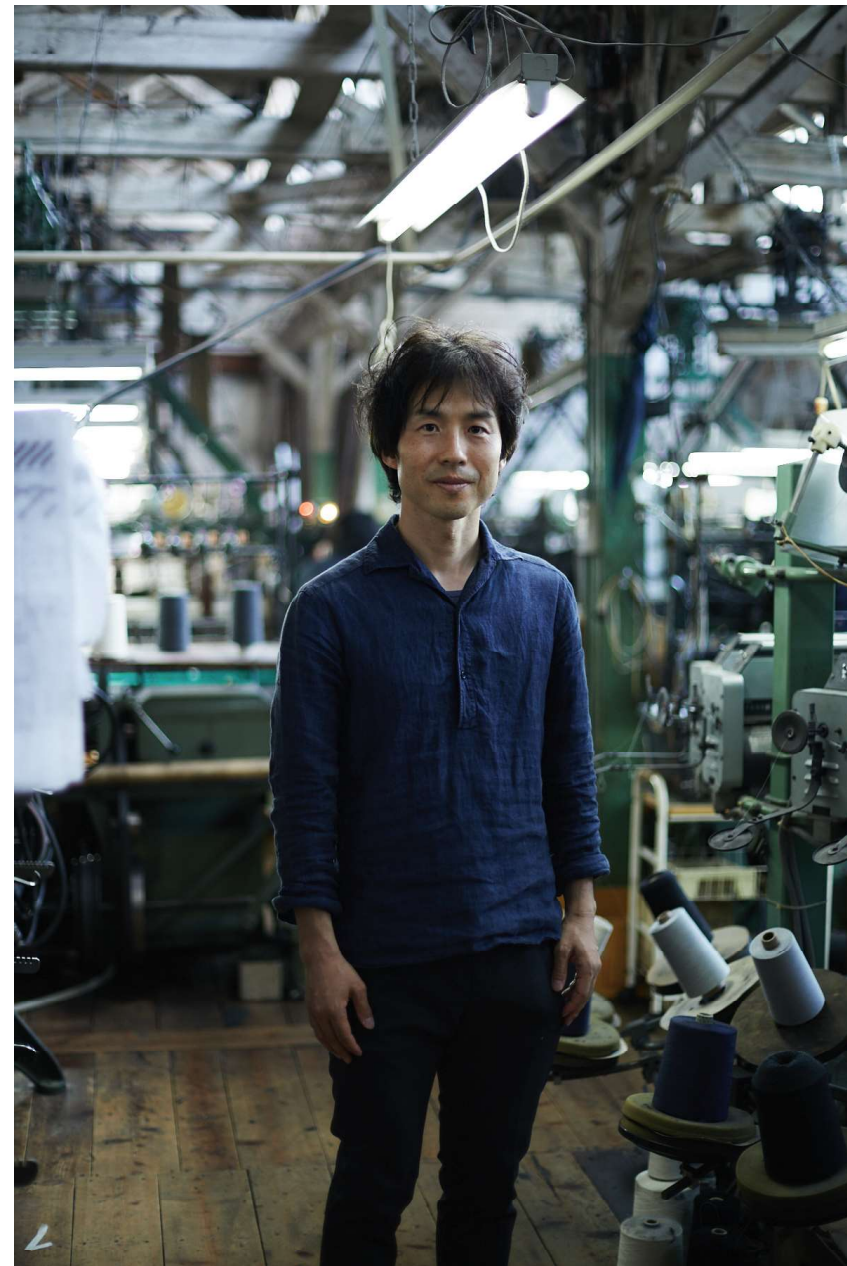
1960年、中伝毛織は自社に機械設備を持たない親機という形態で事業をスタートして、1971年に丸編み工場を設立と共に導入したニットマシンが初めての自社設備だった。現在の中伝毛織は、76台の織機、39台の丸編機、4台の横編み機を持ち、小ロットから大量ロットまでの幅広いオーダーに応えながら、24時間体制で稼働している。さらに、尾州産地内で約100社の協力工場があり、業界トップクラスの生産力を誇る尾州産地を代表する企業となった。分業・協業で成り立つ繊維産地で、一貫設備を持つ企業は非常に珍しい存在。



ゲストスピーカー②

葛利毛織工業株式会社
葛谷 聰 専務取締役

1912年（大正元年）、葛利毛織工業株式会社は木曾川沿いの一宮市木曾川町で創業した。老舗毛織物メーカーの葛利毛織工業は、ションヘル織機という1950年頃に日本国内で普及した日本産の低速織機を扱い、他社には真似のできない高付加価値のさまざまなテキスタイルを作ってきたメーカー。葛利毛織工業の工場は昔懐かしい木造の建物で、ノコギリ屋根から入る自然光が年期の入った織機たちをライトアップしていて、なんとも神秘的な空間である。そこに低速で動く多数のションヘル織機たちが、1台1台オリジナルなリズムで機音を刻んでいるので、まるで生き物のように感じる。



モデレーター

西沢 智裕 (モデレーター)
ザ・ウールマーク・カンパニー
商品開発・教育担当マネージャー

オーストラリアの大学でFashion and Textile Designを専攻し帰国。尾州産地の大手テキスタイルメーカーに14年勤務。サンプル生地設計・開発・バルク生産管理・原糸調達・糸染め工場への出向や整理会社との連携強化を行いながら、国内・海外デザイナーやブランドとのコラボレーション業務を担当。

2017年に繊維製品品質管理士 (TES) を取得し、
2019年より現職

国内の産地を訪れ、学校・企業へのウールセミナーや、日本の技術・企業を世界に発信する業務を担当している。

